

2023年 9月 浜松聖書集会のご案内

(時間: 午前10時 ~ 正午)

- 9月 3日 (日) 集会 (アクト研修交流センター37セミナー室)
司会: 溝口 春江 感話: 武井 めぐみ
聖書講話: マルコによる福音書 14章53~65節
「イエスの裁判—受容と抵抗」 水戸 潔
- 9月10日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会: 永井 徹 感話: 大手 美千代
聖書講話: コリントの信徒への手紙I 15章35~38 節
「コリント書に学ぶ」 生江 扶左子
- 9月24日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会・感話: 岩田 堯
聖書講話: ヨハネの黙示録 5章
「ほふられた小羊こそふさわしい方」 武井 陽一

・・・・・・・・・・・・・・・・通 信・・・・・・・・・・・・・・・・

- 浜松聖書集会ホームページ 再開について
担当を担ってくださっていた榎本潤さんが治療に専念できるよう水戸さんが引き継ぎます。新しいアドレスは、<http://h-seishoshukai.la.cocan.jp/> です。
「浜松聖書集会」で検索すると、古いホームページにつながります。

神の恩恵のみによって数われる

溝口 正

私は約三十年間の大部分を視覚障がい重複児(知的発達障がい)教育に携わった経験から、彼らは健常者のように理性や霊性の働きによって信ずることができない。人の義とされる信仰のみによると言っても、その言葉も意味も全く理解することができない。人の義とされるのは信仰によるとすれば、重度の発達障がいのため、信ずることの意味さえわからない者は救われないこととなるであろう。私が信仰のみに疑問を抱き始めたのは、この問題からであった。神は彼らのような重複障がい者たちのような脳や心や体に十字架を負った者たちを真っ先に救いたもうと私は確信しているからである。悩みに悩んだ挙句、私の到達した結論は「神の恩恵のみによって数われる」ということであった。

終りの日には、地上で最も重荷を負っている者たちが、いの一番に御国へ招かれるであろう。かえりみてお前自身の信仰はどうかと問われるなら「信じます。信仰なき我を救いたまえ」(マルコ9・24)と叫ばざるを得ない「あるか、なしか」の信仰である。ただ一つ、私は敗戦直後に挫折し、死の深淵をのぞき込んだとき、救主イエスが顕現されて「子よ、心安かれ、汝の罪赦されたり」の一方的な恩恵のお言葉をたまわった。私にはそのとき信仰はなかった。それにもかかわらず今尚、あの恩恵の言葉に包まれて救われていることを告白せざるを得ない。神の恩恵は絶対的である。重度重複障がい者たちが、信仰によってではなく、神の一方的恩恵にのみによって救われているとすれば、私も彼らと全く同じ恩恵のみによって救われていることを心の奥底から有難く思う。